



# 卓 話

す。この方々には多忙な中頑張ってもらっていますので、クラブとしても全力でバックアップしなければなりません。

そしてIM、5クラブの各種行事の担当、クラブ25周年、四谷中学を中心とした社会奉仕、そしてラオス小学校支援という国際奉仕もさらに充実させなければなりません。これらの課題をきちんと、恥しくない形でこなして行く為には、皆さん全員の心からなるご協力が必要であります。

有難いことに、わが四谷には、先輩方の培って下さった結束力があります。暖かい絆があります。私はたいしたことのできない人間ですが、いったんやろうと決めたら絶対やり貫く情熱だけは今なお持ち続けております。どうか皆さん、私達キャビネットに力を貸して下さい。参加する事こそ最大の協力と考えてこの一年ご協力下さい。宜しくお願ひ申し上げます。

## 「クラブ協議会」

本日と来週のクラブ協議会で、今年度の方針を各委員長に発表して頂きます。



### ★坂本会長

25年間の長きに亘って諸先輩が築いて下さった、温い雰囲気になり、しっかりと落ち着いたこの東京四谷ロータリークラブの皆さんの為に、これから1年間全身全霊をこめて責務をはたそうと、今朝家を出る時に誓って参りました。こんな気持ちになれるに当って、曾我直前会長、酒井直前幹事をはじめ、実に多くの諸先輩から暖いご指導と励ましを頂き、なんとかやれるかな、といった勇気が湧いて来た次第であります。

ご存知の通り私は口下手であります。その上おっちょこちょいであり、ボケー歩手前です。こんな私がなんとかやってくる為には、廣本幹事の馬力と廣嶋・小林両副会長をはじめとするキャビネットの皆さんの心からなるご協力が必要です。

また一番ほしい協力は、週1回とにかく顔を出すという皆さんのご協力です。彼に会いたい、彼女の元気な声が聞きたいといった、ただそれだけの一寸としたつながり、それを絆（きずな）というのではないのでしょうか。そんな絆を大切にしてください。

100年前のシカゴも、不景気と、格差と、偽善が横行する町であったといわれます。自分のことしか考えない、自分の利益の為なら、どんな悪い事でもする。今の日本そのものような社会であったのだと思います。ポール・ハリスは、そんな風潮に耐えかねて、3人の友人と語り、お互いに信頼出来る仲間として、取引し、語り合おうという事で、ロータリークラブを創設しました。今こそもう一度、自分の事は忘れて、困っている人の為に尽くす。忘己利他の原点に立ち戻ろうではありませんか。1人ではなかなか出来ない事も、皆で話し合い、協力し合ったら、なんでもできる。それがロータリーだと思ひます。

今年のテーマ・方針・活動計画は、別冊の計画書にある通りです。先程の地区委員の任命の通り、今年にはガバナー補佐をはじめ6名もの有力メンバーを地区に派遣していま

### ★廣嶋副会長

ガバナー補佐とクラブの副会長をおおせつかりまして、自分では大変な役目であると思っています。ではガバナー補佐お役目はといたしますと、これをやって下さいという膨大な案件がかかれたマニュアルがあります。そこにはガバナー補佐の主な役割として以下のことが書いてあります。

「ガバナー補佐の主な役割は分区の各ロータリークラブの運営についてガバナーを援助し、効果的なロータリークラブの運営を計ることである。」

その大切なポイントは4つあります。

1. 会員基盤を維持、増強する。
2. 地元および海外の地域社会のニーズを取り込む成果あふれる奉仕プロジェクトを実施する。
3. プログラムへの参加と財政面での貢献を通じて、ロータリー財団を支援する。
4. クラブのレベルを越えてロータリークラブで奉仕ができる指導者を育成する。

こういったことを基本に踏まえ、各ロータリークラブの運営についてガバナーを援助し、効果的なロータリークラブの運営を計る事がガバナー補佐の役割です。

これをクラブに置き換えてみると、副会長というのはガバナー補佐のようなものだと思います。頭の中に置いておくポイントは、ガバナー補佐がしなければならない事を、クラブでは副会長としてやっていくことなのではと考えています。これから実際どうなるか分かりませんが、このマニュアルをベースにして第2580地区の発展、中央分区の発展、四谷クラブの発展に貢献していきたいと思ひます。

## ★小林久クラブ奉仕委員長

今年度坂本会長のテーマは「忘己利他の原点に戻り絆を大切にしよう」です 私流に解釈すれば、昔から良く言われている「互譲の精神」を土台にして、お互い分かり合いましょ、信じ合いましょ」という事だと思ひます。このテーマを常に深く心に持って、楽しいクラブ生活、活動が送れる様に努力したいと考えております。クラブ奉仕委員会を構成する、出席・親睦・ニコニコ・ソングリーダー・会員増強・プログラム・会報・広報の各委員長さんは、会長のテーマを充分に理解されて活発な委員会活動を準備されており、全てお任せしております。何か要請があれば、私と横山副委員長でお手伝いしたいと思っております。

クラブ奉仕委員会独自の活動として、炉辺会合を主催する事が義務付けられております。今年度は2回予定しております。1回はIMのホストクラブとして頑張っておられる鯉江実行委員長に炉辺を有用に活用して頂けるようテーマ等を決めて頂き、IM炉辺会合を考えております。他1回については、テーマ等今後理事会で相談して決めていきたいと思っております。一年間宜しく御願ひします。

## ★出井職業奉仕委員長

職業奉仕はロータリーの原点です。ロータリー独特の取り組みでやっていきたいと思ひます。今年度は会報委員と共同で「私の職業」を企画しています。卓話の時間を一度お借りして若手会員、新入会員を中心に皆様に発表して頂き、それを会報委員会で冊子にして頂く事を計画しています。何年前かにPart1がありましたが、今年はそのPart2として作成しようと考えていますので、担当の方はご協力宜しく願ひ致します。具体的な点としてはこのような事ですが、大組としてはロータリー独特の職業奉仕の取り組みを強調していきたいと思ひます。

## ★横山会員増強委員長

先日今年度のセミナーがあり、その前のセミナーの時は会員増強がどうして必要かという話であったのですが、今年度の説明会でははっきりと会員増強をしようという勉強会になっていました。私としては四谷ロータリークラブにふさわしい方がいましたら、ぜひご紹介いただき、会員増強につなげたいと考えています。副委員長は岩野さんですので非常に心強く思っています。宜しく願ひ致します。

## ★藤原プログラム委員長

今年度プログラム委員会は基本方針として2つ掲げてみました。1つは思わず聞きたくなる、納得感のある卓話者とテーマを選ぶ事を旨とする。もう1つは会員相互の理解を目指し、会員卓話を定期的に行うという事。この2つを本年度は特別に掲げました。経済的な背景もありますが、願ひした会員の皆様には心よくお引き受け頂きました。委員会の性格上、少し早めにスタートし、プログラムも8~9割程度埋める事が出来ました。折角入ったロータリークラブです

ので、是非一緒に例会に参加して頂いて時間を共有出来れば、会長のおっしゃった絆もさらに深まる事と思ひます。協力宜しく願ひ致します。

最後に前年度の「ニコニコ」の報告をさせていただきます。100年に一度の大不況の中、お声をおかけするのも辛かったのですが、快く応じて頂き、お陰様で浄財が計画を大きく上回りました。ありがとうございました。

## ★橋本会報委員長

今年の方針として2つほど掲げさせていただきました。1つは前に梶浦さんがつくった「私の職業」Part1を読ませて頂き、大変面白い企画だという事で、職業奉仕委員会とタイアップして、今年Part2をやらせて頂く事になりました。皆さんご協力宜しく願ひ致します。もう1つはスポットニュースを発信するという企画です。例えば海外に行ってきた、会社でこんな事があった等、そういった小話がありましたら会報にタイムリーに掲載することを計画しています。私自身は非常に無力ですが、篠田さんという非常に優秀な副委員長と協力してやっていきたいと存じます。

## ★大野国際奉仕委員長

経済の問題にはじまり、新型インフルエンザやソマリア、朝鮮半島の問題など国際問題を考えると大変な時代であると感じています。こんな時こそロータリークラブの精神で、国家間の相互理解、親善、平和を考え、国際的な奉仕を再認識しなくてはならないと思ひます。また「忘己利他」の原点に戻り、絆を大切にしようという坂本会長の基本方針に重きをおいて、活動を展開したいと思ひます。ロータリー財団委員長に西浦さん、青少年交換委員長にカイトルさん、米山奨学委員長に酒井さん、世界社会奉仕委員長に米山さんと皆さん私の先輩なので、まずは私を啓蒙教育して頂く事から、今年度の国際奉仕委員会は始めなくてはならないという気持ちもしており、地区世界社会奉仕委員長の鯉江さんにも教えを頂きながらやっていきたいと思ひます。特に当クラブのラオスへの支援を今後どのように展開するのか、ラオスに全員で行くことは現実的には難しいと思ひますので、国内にいても身近に、気軽に、手軽にできるラオスへの支援を考えていきたいと思ひます。後は各委員長のサポートをしていきたいので、宜しく願ひ致します。

## ★安田SAA委員長

会場監督とは会合が楽しく、秩序正しくなるよう、常に心を配り、気品と風紀を守り、会場を設営、監督をするという非常に大きな責任があります。前年度はご存知のように小林SAA委員長が大変はりきられたので、私も厳しくSAAの職務をまっとうしなければと考えています。今日は大目に見ておりましたが、さっそくおしかりをうけてしまいました。ただ最初からきちっとしすぎているのもどうかと思ひますので、来週から厳しく監督していこうと思ひます。それから気品ということについては、私語、携帯電話等慎

んでいただくこと等が、その場の雰囲気や気品あるものにすると思います。それから風紀を守る、これは主にドレスコード等に当たります。あまり細かい事は言うつもりはありませんが、気がついたらお願いする事もあるかもしれません。

今年度の具体的な会場設営に関しては、お茶を用意するテーブルを用意致しますので、主にSAAの方が率先し、もしSAAの方がいない場合は親睦の方をはじめ、気がつかれた会員の方々に率先してやって頂ければ、四谷ロータリークラブのおもてなしがよりはっきり出るかと考えています。又前年同様に前列のテーブルは席を空けないようにする事を今年も継続したいと思います。気が付き次第、他のテーブ

ルから移って頂く事があると思いますが、その時は宜しくお願い致します。

又、四谷ではロータリーソングを数種類しか歌っていませんが、分区に表敬訪問等で出席しますと実に色々な歌が歌われています。当初そのクラブ独自の歌かと思っていたのですが、ロータリーソングでした。リストにのっているといわれて初めて気付く位、四谷はロータリーソングに馴染んでいないようです。ロータリークラブにある資産をより有効活用するという意味で、ソングリーダーやピアノの湯浅先生に協力を得ながら、歌を練習して少しずつ幅を広げていきたいと思っています。一年間楽しく例会が開催出来るよう努力していきたいと思っていますので宜しくお願い致します。